

## 山口県の島嶼地域における施設整備の事例分析

## 一 島嶼地域における医療・高齢者福祉施設の整備計画論 その2

島嶼地域 高齢者福祉施設 医療施設  
立地特性

準会員 ○蔵下 香緒里\*  
正会員 三島 幸子\*\*  
正会員 中園 真人\*\*\*  
正会員 孔 相権\*\*\*\*  
正会員 山本 幸子\*\*\*\*\*

## 1. はじめに

その1では山口県の島嶼地域を対象にパターン分類を行い、医療・高齢者福祉施設の整備状況を明らかにした。パターン分類により、未整備型、通所介護施設・診療所整備型、施設充実型の大きく3タイプ、さらに整備された施設の種類の種類により8タイプに分かれた。そこで、本報では、パターン分類された3タイプの中からそれぞれ1島を典型事例として取り上げ、人口及び地理的特性を整理した上で、医療・高齢者福祉施設の整備状況及び立地特性を明らかにし、今後の施設整備手法の検討に向けた基礎的知見を得ることを目的とする。

## 2. 研究の方法

本研究では以下の2点の調査手法を用い研究を進めた。

## ① 統計資料によるデータベースの作成及び地図作成

WEBサイト：国勢調査/離島経済新聞により、典型事例の島のデータベースを作成し、島の概要を把握した。また、GISを用いて地図及び医療・高齢者福祉施設の施設配置図を作成し、典型事例の島における施設の整備状況を把握した。

## ② 悉皆踏査調査

得られた通所介護施設の建物使用状況を明らかにするため悉皆踏査調査を実施して位置を特定し施設外観の写真撮影を行った。

## 3. 典型事例の概要

典型事例の島の概要を表1に示す。未整備型は馬島、通所介護施設・診療所整備型は見島、施設充実型は屋代島を典型事例として抽出した。馬島は田布施町に位置し、面積0.7k㎡、人口わずか26人という小さな島である(図1)。本土と島の連絡橋も整備されていないため、本土との移動は1日6-7便の渡船のみで、所要時間は8分である。島には港がなく、産業は海水浴やキャンプなどの観光業のみである。

見島は萩市に位置しており、面積7.7k㎡、人口963人という平均的な島である(図2)。本土との距離は離れているため連絡橋は無く、本土との移動は1日2-4便の定期

表1 島の概要

島名	タイプ名	市町村	面積(k㎡)	人口(人)	橋
馬島	未整備型a	田布施町	0.7	26	無
見島	通所介護施設・診療所整備型c	萩市	7.73	963	無
屋代島	施設充実型c	周防大島町	128.31	18,589	有

(注)人口:2010年のもの

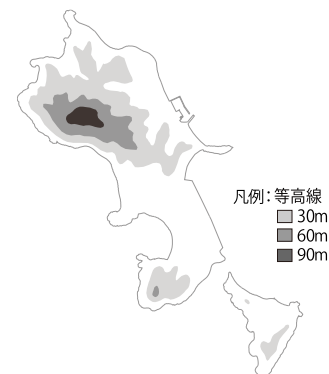


図1 馬島の施設配置図

船のみで、所要時間は約1時間半である。島には港が1ヶ所のみで、産業は主に水産業と農業である。

屋代島は周防大島町に位置しており、唯一島内で自治体が完結している(図4)。2004年に旧大島・久賀・橋・東和町の4町が合併して現在の周防大島町となっている。面積128.31k㎡、人口18,589人という山口県内で最も大きな島である。本土とは連絡橋があり、自由に本土との行き来が可能である。島には多数の港があり、産業は漁業・農業・観光業が中心で、特にみかんが特産物として有名である。

## 4. 馬島(未整備型)

馬島の施設配置図を図2に示す。島には医療・高齢者福祉施設が1ヶ所も整備されていないため、住民は病院等を利用する際、船で本土まで行く必要がある。また、介護度が高くなり、在宅での生活が難しくなった場合は島を離れなければならない状況にある。このような状況では最期までこの島に住み続けることは困難であるが、26人と人口規模が小さいため、施設を整備することは経営の面からみて難しいと考えられる。

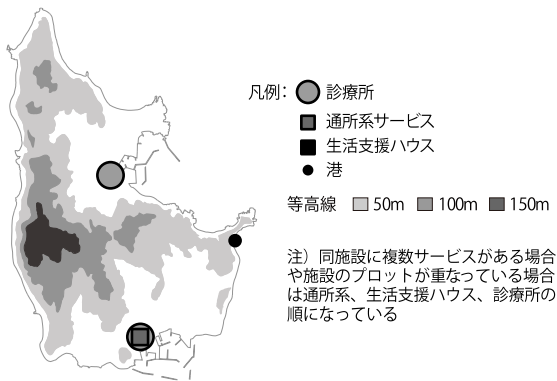


図2 見島の施設配置図

表2 見島における医療施設の概要

施設名	施設の種類	病床数	医師(人)	診療科目	設置主体
診療所A	診療所	一般 2	1	内科・小児科・歯科	市町村
診療所B	診療所	0	1	内科・小児科	市町村

表3 見島における高齢者福祉施設の概要

施設名	サービスの種類	定員数	設置主体
通所介護A	通所介護	18	社会福祉法人h
生活支援ハウスA	生活支援ハウス	10	市町村



図3 見島における施設の外観写真

## 5. 見島（通所介護施設・診療所整備型）

### 5.1 医療施設の整備状況

見島における医療施設の概要を表2、施設配置図を図2、施設の外観写真を図3に示す。医療施設は萩市が設置した診療所Aと診療所Bの2施設が整備されており、医師が1人ずついる。診療科目は内科と小児科で、診療所Aでは歯科もある。また、診療所Aのみ一般の2病床をもつ。見島は南北で2つの地区に分かれているが、それぞれの地区に診療所が整備されている。診療所は沿岸部に整備され、各地区の集落中心付近に立地している。そのため、病院はないが基本的な医療施設は整っていると見える。一方、病床数は2と人口に対し少ない点は問題であると考えられる。

### 5.2 高齢者福祉施設の整備状況

見島における高齢者福祉施設の概要を表3に示す。見島の高齢者福祉施設は社会福祉法人が設置した通所介護及び生活支援ハウスが併設した1施設のみである。定員は通所介護施設18人、生活支援ハウス10人である。また、生活支援ハウスについては夜間職員がいないため、ある程度自力で生活可能な高齢者の入居に限定している。診療所Aの周辺に立地し、集落中心付近に立地している。

以上より、通所系及び比較的介護度の低い利用者の入所系施設のみであるため、介護度が高くなると島を離れなければならない状況にある。今後の施設整備の展望としては、島の面積が小さいため、他地区に施設を整備するのではなく、現在設置された施設でサービスの種類を追加することが望ましいと考える。

## 6. 屋代島（施設充実型）

### 6.1 医療施設の整備状況

屋代島における医療施設の概要を表4、施設配置図を図4、医療施設の外観写真を図5に示す。医療施設は病院が4施設、診療所が13施設整備されている。また、診療所の内6施設の診療所が外来不可のもので、高齢者福祉施設や救護施設に併設されており、特に特別養護老人ホーム併設が多い。病院は3ヶ所周防大島町が設置しており、病院Dのみ個人が設置している。病院Aは一般病床と療養病床があり、診療科目数は10と多い。病院Bは病床数が125、医師数が12.9、診療科目が11と最も多い。病院Cは病床数が36と最も少なく、診療科目も8と比較的少ない。病院Dは精神病床のみで、病床数は132と最も多いが、診療科目が精神科と歯科のみである。以上のように、病院ごとに差はあるものの、診療科目や医師の人数、病床数が多い。病床については一般だけでなく、療養や精神の病床も多数ある。

診療所は医療法人又は個人が設置している。診療所の規模は様々で、診療科目の数や種類も異なる。規模が大きい診療所では11科目と病院とほとんど変わらない一方で、規模が小さい診療所では内科だけのところもある。しかし、医師は1人の施設が多い。病床数に関して、診療所として持つことの出来る最大の病床数である19の診療所が2ヶ所あるものの、大半の診療所は病床数が0である。また、診療所は島の西側に集中的に位置しており、東側には医療施設は見られない。全体的に旧4町の集落中心付近に立地し、病院の周辺に立地する診療所が多い点は特徴である。

以上より、屋代島は4ヶ所病院を中心に多くの診療所が整備されており、診療科目の種類や病床数も多いため、医療施設は充実しているといえる。また、久賀町は診療所のみであるが、旧町単位で医療施設が整備されている点は特徴である。

### 6.2 高齢者福祉施設の整備状況

屋代島における高齢者福祉施設の概要を表5に、外観写真を図6に示す。屋代島では高齢者福祉サービスが67提供されている。また、1サービスのみを提供する施設は少なく、大半の施設で様々なサービスが提供されている。また、社会福祉法人だけでなく、営利法人やNPO法人等の民間法人も多く参入している。社会福祉法人は特別養護老人ホーム、短期入所生活介護、通所介護が併設した

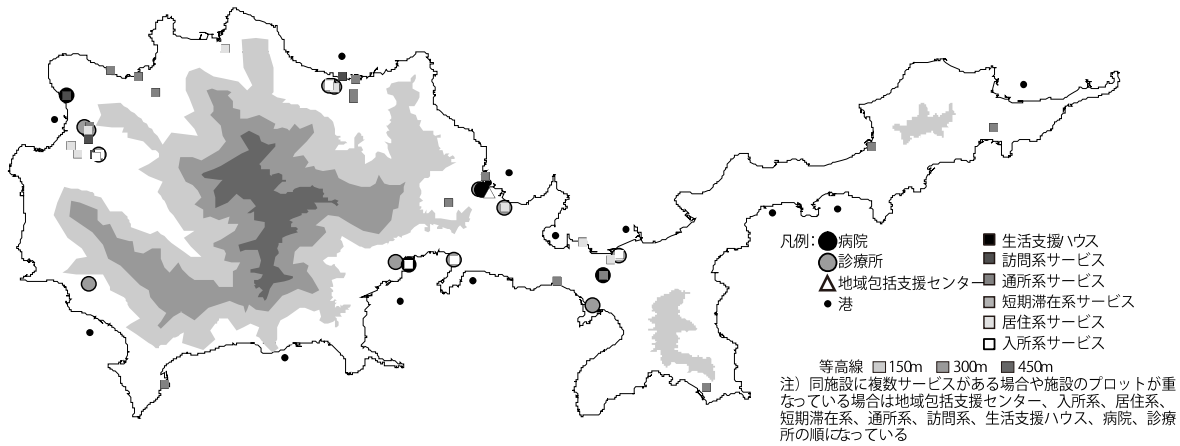


図 4 屋代島の施設配置

表 4 屋代島における医療施設の概要

施設名	施設の種類	病床数	医師(人)	診療科目	設置主体
病院A	病院	一般39 療養60	10.9(4.9)	内科・外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻いんこう科・整形外科・脳神経外科・リハビリテーション科・発達小児科	市町村
病院B	病院	一般125	12.9(4.9)	内科・循環器内科・外科・整形外科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻いんこう科・リハビリテーション科・放射線科・発達小児科	市町村
病院C	病院	一般36	6.1(3.1)	内科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻いんこう科・歯科・整形外科・外科	市町村
病院D	病院	精神132	3.3(0.3)	精神科・歯科	個人
診療所C	診療所	一般19	1.4(0.4)	消化器内科(胃腸内科)・消化器外科(胃腸外科)・外科・整形外科・泌尿器科・肛門外科・リハビリテーション科・放射線科・麻酔科・脳神経外科	医療法人
診療所D	診療所	一般19	1	内科・呼吸器内科・循環器内科・消化器内科(胃腸内科)・リウマチ科・外科・消化器外科・肛門外科・整形外科・リハビリテーション科・心血管外科	個人
診療所E	診療所	0	1.1(0.1)	消化器内科・整形外科・外科・リハビリテーション科・麻酔科・皮膚科・泌尿器科	医療法人
診療所F	診療所	0	1	内科・小児科・循環器内科・放射線科	個人
診療所G	診療所	0	1	内科・小児科・脳外科	医療法人
診療所H	診療所		1	内科	個人
診療所I	診療所		1	内科	個人
診療所J(外来不可) 軽費老人ホーム併設	医務室			内科・外科・整形外科	
診療所K(外来不可) 特別養護老人ホーム併設	診療所			内科・外科	
診療所L(外来不可) 特別養護老人ホーム併設	診療所			内科	
診療所M(外来不可) 特別養護老人ホーム併設	診療所			内科	
診療所N(外来不可) 有料老人ホーム併設	診療所			内科	
診療所O(外来不可) 救護施設併設	診療所			精神科	

注) 空白: 現在調べられていないところ, 医師の( )内の数字: 非常勤医師の人数, 医務室: 診療所として扱うものとする

表 5 屋代島における高齢者福祉施設の概要

施設名	サービスの種類	定員数	設置主体
訪問介護A	訪問介護	-	社会福祉法人z
訪問介護B	訪問介護	-	医療法人o
訪問介護C	訪問介護	-	営利法人si
訪問介護D	訪問介護	-	社会福祉協議会
訪問介護E	訪問介護	-	社会福祉協議会
訪問介護F	訪問介護	-	NPO法人k
訪問入浴介護A	訪問入浴介護	-	社会福祉協議会
訪問入浴介護B	訪問入浴介護	-	社会福祉法人z
訪問看護A	訪問看護	-	医療法人o
訪問看護B	訪問看護	-	その他法人c
訪問看護C	訪問看護	-	市町村
訪問看護D	訪問看護	-	NPO法人ii
訪問リハビリテーションA	訪問リハビリテーション	-	市町村
訪問リハビリテーションB	訪問リハビリテーション	-	市町村
訪問リハビリテーションC	訪問リハビリテーション	-	医療法人
訪問リハビリテーションD	訪問リハビリテーション	-	市町村
通所介護B	通所介護	10	営利法人p
通所介護C	通所介護	12	営利法人si
通所介護D	通所介護	10	社会福祉協議会
通所介護E	通所介護	14	NPO法人ii
通所介護F	通所介護	10	営利法人hi
通所介護G	通所介護	21	営利法人ha
通所介護H	通所介護	25	社会福祉法人z
通所介護I	通所介護	10	社会福祉協議会
通所介護J	通所介護	35	医療法人o
通所介護K	通所介護	18	社会福祉協議会
通所介護L	通所介護	30	社会福祉法人o
通所介護M	通所介護	20	営利法人sa
通所介護N	通所介護	18	社会福祉法人t
通所介護O	通所介護	10	社会福祉法人
通所介護P	通所介護	18	社会福祉法人s
通所介護Q	通所介護	25	営利法人k
通所介護R	通所介護	18	社会福祉協議会
通所介護S	通所介護	10	NPO法人it
通所介護T	通所介護	10	社会福祉協議会
通所介護U	通所介護		営利法人it
通所介護V	通所介護	10	NPO法人k
通所介護W	通所介護	10	NPO法人k
通所リハビリテーションA	通所リハビリテーション	20	市町村
通所リハビリテーションB	通所リハビリテーション	20	市町村
通所リハビリテーションC	通所リハビリテーション	10	市町村
小規模多機能型居宅介護A	小規模多機能型居宅介護	18	NPO法人ii
小規模多機能型居宅介護B	小規模多機能型居宅介護	20	医療法人o
短期入所生活介護A	短期入所生活介護	10	社会福祉法人z
短期入所生活介護B	短期入所生活介護	17	社会福祉法人o
短期入所生活介護C	短期入所生活介護	10	社会福祉法人t
短期入所生活介護D	短期入所生活介護	10	社会福祉法人s
短期入所療養介護A	短期入所療養介護		空床利用 市町村
短期入所療養介護B	短期入所療養介護		空床利用 市町村
軽費老人ホームA	軽費老人ホーム	50	社会福祉法人z
養護老人ホームA	養護老人ホーム	50	社会福祉法人t
認知症共同生活介護A	認知症共同生活介護	9	社会福祉法人z
認知症共同生活介護B	認知症共同生活介護	9	NPO法人ii
認知症共同生活介護C	認知症共同生活介護	18	営利法人se
認知症共同生活介護D	認知症共同生活介護	18	営利法人hi
認知症共同生活介護E	認知症共同生活介護	9	医療法人o
認知症共同生活介護F	認知症共同生活介護	9	営利法人hi
認知症共同生活介護G	認知症共同生活介護	18	営利法人si
サ高住A	サ高住	22	医療法人o
サ高住B	サ高住	20	医療法人y
特別養護老人ホームA	特別養護老人ホーム	50	社会福祉法人z
特別養護老人ホームB	特別養護老人ホーム	83	社会福祉法人o
特別養護老人ホームC	特別養護老人ホーム	50	社会福祉法人o
特別養護老人ホームD	特別養護老人ホーム	50	社会福祉法人t
特別養護老人ホームE	特別養護老人ホーム		社会福祉法人sa
介護老人保健施設A	介護老人保健施設	80	市町村
介護老人保健施設B	介護老人保健施設	50	市町村
生活支援ハウスB	生活支援ハウス	10	市町村
生活支援ハウスC	生活支援ハウス	10	市町村

注) 空白: 現在調べられていないところ, サ高住: サービス付き高齢者向け住宅



図 5 屋代島における医療施設の外観写真

施設の運営を行う法人が多く見られ、比較的規模の大きい施設が多い。営利法人は通所介護単独施設又は認知症共同生活介護と通所介護が併設した施設を運営している法人が多く見られる。医療法人は通所介護施設や訪問介護を運営する法人が多く見られるが、1 法人のみ認知症共同生活介護や通所介護施設、訪問介護等が併設した比較的大規模な施設運営を行っている。また、サービス付き高齢者向け住宅を運営する法人も見られた。NPO 法人は大半が通所介護施設単独での施設運営を行っており、比較的小規模な施設運営を行っている。社会福祉協議会は通所介護 6 施設の運営を行っており、その内 2 施設は生活支援ハウス及び訪問介護と併設した施設である。周防大島町は 2000 年以前から自治体が積極的に高齢者福祉施設整備を進めている特徴的な地域であり<sup>注 1)</sup>、社会福祉協議会は施設運営のみを行っている。また、現在も介護老人保健施設や訪問介護等自治体が運営している施設もある。また、施設は医療施設と同様に、人口が集中する各旧町の集落中心付近に位置しており、島の東側には 2 施設のみ整備されている。また、施設は全て沿岸部に立地している。

以上のように、民間法人を含めた様々な法人が参入してサービスを提供することで、訪問系、通所系、短期滞在系、居住系、入所系の全てのサービスが提供され、高齢者は島内でどのサービスも受けることが可能となっている。特に通所介護が 22 施設と多く、定員が 9 人と小規模から 83 人と大規模までと幅が広く、それぞれの高齢者に合った施設を選ぶことが可能である。また、屋代島は島嶼地域では数少ない地域包括支援センターも設置されている。よって、主な 5 つのサービスが全て揃っており、施設数も多いことから、屋代島の高齢者福祉施設は充実しているといえる。

## 7. まとめ

本論文では、山口県内の典型事例として抽出した 3 島の施設整備状況や施設の立地特性を明らかにした。得ら

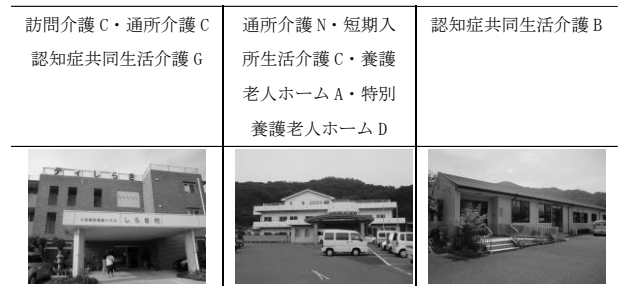


図 6 屋代島における高齢者福祉施設の外観写真

れた知見は以下の通りである。

- 1) 未整備型の馬島は、面積が小さく人口も少ない島であり、医療・高齢者福祉施設が 1 施設も整備されていない。そのため、渡船で本土の施設を利用しなければならない環境にある。
- 2) 通所介護施設・診療所整備型の見島は、面積や人口も平均的な島であり、医療施設は診療所が 2 ヶ所、高齢者福祉施設も 2 ヶ所整備されている。医療施設は診療科目が最低限あるものの病床数が少なく、福祉施設は通所介護施設と生活支援ハウスが併設した施設が整備されているが、介護度が高くなった場合対応できない環境にある。
- 3) 施設充実型の屋代島は、病院が 4 ヶ所、診療所が 13 ヶ所整備されており、診療科目の種類や病床数も充実している。高齢者福祉施設は 67 サービスが提供され、全てのサービスが揃っており、施設数も多い。そのため、医療福祉施設は充実しているといえる。また、施設は各旧町の集落中心付近に集中立地する傾向にある。

## 注

- 1) 周防大島町では自治体が 1990 年代前半に社会福祉法人運営施設、1990 年代後半に社会福祉協議会運営施設整備を進めた先進事例である。詳細は文 2) を参照されたい。

## 参考文献

- 1) 大月和彦他 3 名：栗島における地域福祉推進に向けた基礎的研究、「教育学部紀要」文教大学教育学部, 第 43 集, pp. 31-38, 2009
- 2) 大橋彩織他 5 名：社会福祉協議会が運営する通所介護施設の開設経緯と立地特性, 日本建築学会中国支部研究報告集, 第 40 巻, pp. 587-590, 2017. 3. 5

\* 山口大学工学部感性デザイン工学科 学部生

\*\* 山口大学大学院創成科学研究科 助教・博士 (工学)

\*\*\* 山口大学大学院創成科学研究科 教授・工博

\*\*\*\* 山口大学大学院創成科学研究科 講師・博士 (工学)

\*\*\*\*\* 筑波大学システム情報系 准教授・博士 (工学)

\* Undergraduate, Dep. of KANSEI Design Eng., Faculty of Eng., Yamaguchi Univ.

\*\* Assistant Prof., Graduate School of Sciences and Tec. for Innovation, Yamaguchi Univ., Dr. Eng.

\*\*\* Prof., Graduate School of Sciences and Tec. for Innovation, Yamaguchi Univ., Dr. Eng.

\*\*\*\* Lecturer, Graduate School of Sciences and Tec. for Innovation, Yamaguchi Univ.

\*\*\*\*\* Associate Prof., Faculty of Eng., Info. and Systems, University of Tsukuba., Dr. Eng.